

令和7年二十歳のつどい！

このたび、晴れて二十歳の仲間入りを果たされる皆様に、心よりお祝い申し上げます。門出を祝し、心温まる式典となるよう準備をしております。

開催日時は、下記のとおりです。

記

日時：令和7年1月4日（土）午後3時～

会場：大和村防災センター 2F ホール



祝大和村立大和中学校卒業式



対象者の皆さんの中学校の卒業式の様子です。今、どのように成長しているのでしょうか。

♪伝統音楽とオーケストラの融合♪

今年で第3回となる「ほこらしや奄美音楽祭」が、開催されます。奄美伝統の島唄とオーケストラを合わせた演奏メニューなど、この音楽祭でしか聞けないスペシャル企画が盛りだくさんです。

開催日時 令和7年2月9日（日）

開 場 午後5時00分 開演 午後6時00分

会 場 奄美川商ホール（奄美振興会館）

＝チケットの販売について＝

村内のチケット販売場所については、下記のとおりです。

○大和村教育委員会（役場2階）

大和村企画観光課（役場1階）

○入場料

【一 般】

前売：4,000 円/当日：4,500 円

【小中高生】

前売：2,000 円/当日：2,500 円

【未就学児】無料（座席無し・膝上対応）

○問い合わせ先

大和村教育委員会 57-2154

大和村企画観光課 57-2117



毎月19日は『育児の日』

第3土曜日は『青少年育成の日』

第3日曜日は『家庭の日』



本（ふん）の読（ゆ）む半果てやねん？



本島って本当？

今回は、私たちが住んでいる「奄美大島」を中心に呼び方について話をします。勝手ですが、「奄美大島」を「A」とさせていただきます。

私もですが、「A」に住んでいる人から、「A」のことを「本島」と聞く時があります。では、他の島に住んでいる人たちは「A」のことを一般的に何と呼んでいるかということ、喜界島の人は「大島」、加計呂麻島の人も「大島」、徳之島の人は「奄美」、沖永良部島の人も与論島の人も「奄美」と呼んでいるようで、「A」以外の島の人は「本島」とは言わないようです。「A」に住んでいる私たちは「奄美」と言うと喜界島から与論島までの島々の全部を指す場合が多いように思うのですが、「A」を「奄美」と呼ぶ島が多いなと思いました。ちなみに、鹿児島市の人も「奄美」と呼ぶようです。

だからでしょうか、TVの天気予報の画面が「種子島、屋久島、奄美、徳之島、沖永良部、与論島」としている局もあります。

また、九州島以北（特に関東や関西）のことを「内地」と言うのをよく聞きます。甲東哲氏は『わが奄美考』の中で、「復帰運動中、そこを“内地”と呼べば、こちらは“外地”ということになり、復帰の必要性もなくなり、復帰の道も厳しくなる。だから、“内地”ではなく、“本土”と呼ぶことにしようとしたが、もっと“日本国民”だという意識を強調するために、“日本復帰”と掲げた。」と述べてきます。奄美から遠い所だ感じていた“内地”や“本土”も交通手段の発達で今やその往来もたやすくなり、身近な所となってきました。ですので、近いうちに“内地”ではなく東京とか大阪、福岡などと具体地名を言うようになっていくと思います。

大和浜出身の和真一郎氏は『奄美ほこらしや』の中で、「戦前、一字の名字を二字に変えていく時に、奄美の人たちは『一字だと朝鮮人と間違われるから。』というような言い方をしていましたが、『中国人と間違われるから。』というような言い方はしていませんでした。差別されながら差別していくという風に、自分の人間性をも失っていくということになると思います。」と述べています。差別することも卑下することもなく、誇りとアイデンティティをもって対等な関係で生きていきましょう。

国土地理院は、2010年（平成22年）に喜界島から与論島までを「奄美諸島」ではなく、「奄美群島」と呼称を統一しました。大隅諸島、沖縄諸島、尖閣諸島、大東諸島、トカラ列島、宮古列島、八重山列島で、奄美だけが群島です。もしかしたら、それは「奄美群島 日本復帰」が関係したのかも知れません。ご存知の方は教えていただけないでしょうか。

蛇足ですが、「沖永良部島」は「おきのえらぶじま」で、「沖永良部高校」は「おきえらぶこうこう」と呼びます。